



南が丘通信

教育目標

進んで学び深く考え、積極的に行動する人
思いやりの心を持ち、互いに協力する人
心身ともに健康で、創造力のある人

練馬区立南が丘中学校

校長 宮田 健史

〒177-0035

練馬区南田中 4-8-23

TEL 03-3904-5782

URL <http://www.minamigaoka-j.nerima-tyky.ed.jp>

令和4年度 第4号 令和4年7月15日発行



常識なんて非常識？



主任教諭 小島 佳之

社会に出るにあたって、知・徳・体の充実した社会人の育成を目指す学校において、常識を身につけさせることは必要不可欠です。最近、この“常識”について考えさせられる場面が多々あります。

野球界メジャーリーグでは大谷選手が、二刀流で大フィーバー。投手または打者で勝負することが主流となっていた野球界の常識を覆し、オールスターファン投票でも1位に立っています。テニス界ウィンブルドンでは国枝選手が、男子シングルス史上初の生涯ゴールデンスラム（4大会とパラリンピック）の快挙を達成しました。控え目で相手をたてることが美德とされてきた日本ですが、「俺は最強だ」と自らを鼓舞する独自の方法で前人未到の記録を打ち立てました。彼らは常識にとられない柔軟な発想や信念をもち成功をつかみ取りました。もちろん、目標達成のためには努力が必要だという常識は大切にしていますが、その努力も常識を遥かに超えるものだったと推測されます。

スポーツ界だけでなく、社会に目を向けると常識自体が変化しています。一つの会社で勤め上げるのがいいという価値観も変化し、転職や副業といった言葉も一般化しつつあります。女性は家を守り、男性が働くという考え方も共同参画社会、ジェンダーフリーの考え方へシフトしています。学校生活に目を向けても変化は大きなものです。運動会では組体操がなくなり、大縄やダンス、空手を採用し、ケガのリスクを抑えることも新たな常識となりました。制服や校則がニュースとして取り上げられ、世の流れは変わってきました。授業は学校に通い、受けるのが当たり前という常識もオンライン授業の導入などにより、変化しつつあります。

では常識とは何のためにあるのでしょうか。命は大切なもの、困っている人がいたら助ける、周囲の人に感謝する、どれも常識です。この常識がなくなれば、生きづらい社会となることでしょう。変化する世の中にも変化してはならないこともあるということです。常識は、多様な価値観が存在する社会を生きる中で、嫌な思いをする人が極力少なくなるようにできた、暗黙の了解であると言えると思います。ある種、少しでも幸せになるためのワガママともとらえられるかもしれません。何が正しくて何が間違っているのか、簡単に答えは出ませんが、自分のことだけではなく、互いの幸せを考えることで、多くの人々のワガママが多くの人の幸せにつながるよう、生徒たちとともに考えながら、変化の大きなこの時代を歩んでいきたいものです。

受験生は勉強するもの、部活動は上級生が引っ張るもの、夏休みは計画的に過ごすものなどなど、中学生にとっても常識を問われる場面が増える夏休み。常識を理解し成長につなげるのか、常識を覆すやり方で道を切り拓くのか、それぞれの真価が問われます。家庭や地域で見守りながら、ともに成長できるチーム南が丘を目指していきたいと思ひます。引き続き、生徒の健全育成のために、ご協力お願いいたします。



●西村先生、ようこそ南が丘中学校へ●

7月18日（月）より、英語科の大友夏子主任教諭が産前産後休業に入ります。代替として、西村友里教諭が本校に着任します。これまで大友先生が担っていた教科指導や学年内の担当、生徒会等の校務を引継いでいただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



●E組 武石移動教室●

6月13日(月)～15日(水)の2泊3日、E組では3年ぶりとなる夏の宿泊学習として、長野県上田市武石に行ってきました。1日目は群馬県にあるこんにやくパークでこんにやくの製造過程を学び、群馬サファリパークで動物と触れ合い、様々な動物の生態を学びました。2日目は長野県の鷹山ファミリー牧場で搾乳体験や乗馬体験、立岩和紙の里で団扇作りをしました。3日目は美ヶ原高原美術館で様々な美術品を目にし、旧軽井沢銀座で街並みを散策するなど3日の間、3年生の班長を中心に班行動し、様々な体験をすることができました。



●2年 職場体験●

7月7日(木)・8日(金)の2日間、2年生は職場体験学習を行いました。

本校での実施は実に3年ぶりとなります。様々なご事情があるなか、36もの事業所に職場体験をお引き受けいただきました。毎日の学校生活とは異なる「働く」環境で、不安や緊張を抱えつつも、貴重な経験をすることができたようです。

学習のしおりに書かれた感想では、「事業所の皆さんがとても優しく楽しく体験することができた。」「これまでその仕事の一部しか見ていなかった。大変さを心と体で実感した。」「どんな業種でも挨拶や掃除が大切だと知ったので、今からでも挨拶や掃除を丁寧にやるように心掛けていきたい。」など、一人一人が大切なものをしっかり持ち帰った様子が見て取れました。

ご協力いただいた事業所の皆様に、改めてお礼申し上げます。



◆夏休みの生活について◆ 生活指導部 小島 健弥

今年度も新型コロナウイルス感染症と付き合いながらの夏休みが始まります。昨年と比べると規制が緩和されていますが、油断せず基本的な感染症予防対策の徹底をお願いします。

さて、42日間の長い休み中には、様々なトラブルに巻き込まれる危険があります。その中でも、「SNS(メール、LINE、ブログ等)のトラブル」は対策一つで未然に防ぐことができます。誰もが気軽に携帯電話を使う中、不用意に他人を傷つけたり、マナーを守らない書き込みを行ったりする「ルール違反」は、子供であれ、大人であれ、許されるものではありません。人の命を奪う事例まで出ていることは、皆さまも存じのとおりです。

学校では折に触れて、お子様へ「正しく携帯電話やインターネットを使う」指導を行っています。ご家庭でも、長期休業が始まるこの機会に、ぜひ改めて「使い方やルール」については、しっかりとご指導をお願いいたします。夏休み前には「我が家のSNSルール」の作成をするための用紙を配布いたします。ご活用いただき夏休みの最後に、行動の振り返りとして一言いただけると幸いです。

◆夏休み前後の活動について◆

- 7月19日(火) 午前に授業、午後には美化活動
※体育着登校
- 7月20日(水) 1学期終業式
※2校時終了後下校(10:15頃)
- 8月9日(火)～15日(月) 学校休務日
※この期間、学校は機械警備となります
- 9月1日(水) 2学期始業式(8:25開始)
夏休み明けテスト
給食後、下校(13:15頃)

◆夏季休業中の感染症対応◆

- 夏季休業中に生徒がPCR検査を受けた場合、また、感染が半明した場合は、必ず学校へ報告をお願いいたします(平日の8:15～16:45)。学校休務日は、学校携帯電話(080-7798-2260)へご連絡ください。
- 夏季休業中に感染者が発生した際には、部活動や学習教室を中止する場合があります。その際には学校連絡メールなどにより連絡いたします。